

## 第4回 鶴ヶ谷ことぶき大学【館外学習】レポート

宮城県美術館「ランス美術館コレクション 風景画のはじまり～コローから印象派へ」  
講師：宮城県美術館 学芸員 松崎なつひ 氏  
日時：令和3年10月20（水）10:00～11:30  
参加受講生：14人



美術館玄関前で黙しての記念写真



講座開始前の検温の様子。



令和3年9月18日から11月7日まで開催されている「ランス美術館コレクション 風景画のはじまり～コローから印象派へ」を参加者14名と鑑賞しました。

受講生の皆様は、集合時間より早めに到着し、鶴ヶ谷ことぶき大学の受講生同士、久々にお会いすることができたことと美術展への期待で笑顔がいっぱいでした。

宮城県美術館での講座の開催では担当の細萱さんには、新型コロナウイルス感染症対策、また急病者がした場合の救護室の案内等、細やかな配慮をしていただき、安心して講座を開催することができました。



美術展を鑑賞する前に美術館のアートホールで学芸員の松崎なつひ先生から、今回の美術展についての概要、コローをはじめブーダン、モネなどの19世紀の画家たちの風景画の特徴を丁寧に解説していただきました。そして、事前に今回の美術展ポイントを教えていただいたことで、さらに興味を深め、時間をかけじっくりと一点一点、丁寧に鑑賞していた受講生の皆様の姿が印象的でした。

また、同時開催の宮内庁三の丸尚蔵館所蔵 皇室の名品展「皇室の美 東北ゆかりの品々」も鑑賞し、充実した館外学習となりました。

### ◆◆◆ 受講生のアンケートより ◆◆◆

- ◎県美術館で館外学習フランスの「ランス美術館に所蔵されている近代風景画～19世紀～印象派」の画家、絵画や版画の作品、同時開催の皇室の美「東北ゆかりの作品」等々、時間も忘れ、心に残る深い学習でした。
- ◎展示品を観る前に、学芸員の方にお話を聞くことが出来た事はとても参考になりました。フランス近代風景画の変遷をたどりながら、林の木々、水、人物等を取り入れた特徴のある19世紀の風景画の捉え方、描かれ方、色使いを学ぶ事が出来て良かったです。個々の作家展でなく、一連の実物の作品を見る事が出来て良かったと思います。
- ◎私にとって初めての館外学習であり、久しぶりの美術館はとても楽しかったです。集まった方たちに知っている人はいませんでしたが、少し触れ合うことが出来ました。